

様

	入院前日まで	入院日	手術当日（手術前）		手術当日（手術後）	手術後1日目	手術後2日目	手術3日目	手術4日目	退院日
月日		月 日	月 日		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
到達目標	治療に向けて不安が軽減できる		治療後に起こる不安や苦痛が最小限にできる							退院後の生活がイメージできる
治療薬剤	・手術当日の薬は、手術に影響するため医師の指示に従ってください。 	・持参した薬は、薬剤師に預けて下さい ・預けた薬は、薬剤師が確認します ・確認した薬は、看護師がお返しします ・薬の内服は医師の指示によります	・医師から指示された薬のみ使用します 		・穿刺部ガーゼ交換、医師にて沈子抜去します					【薬剤師】 ・薬剤師、もしくは看護師より薬の説明があります 
処置検査	・爪は短く切って下さい 【入院日までに準備して下さい】 ☐ 現在使用中の薬 ☐ お薬手帳 ☐ ボールペン（必要書類サインのため） ☐ 入院生活に必要な物（アメニティの申し込みは入院後になります）	・指定された時間までに、患者支援センターにお越し下さい。 ＊付き添いの方も一緒に来院して下さい ・点滴は左上肢か左下肢にておこないます 	・手術着へ着替えて下さい 	・術後は救急病棟です ・単純CT（頭部）を撮影します	・一般床へ転棟します		・単純MRI（頭部）を撮影します ・点滴を抜去します 			
活動安静度	す） ☐ 入院案内 ☐ 書類 ☐ その他	・転倒しないよう、履き慣れた靴の持参と寝衣の裾丈の調整をお願いします ・病院内の歩行は自由です ・転倒しないよう、履き慣れた靴の持参と寝衣の裾丈の調整をお願いします	・血管内撮影室（4F）へは、車椅子または歩行で向かいます	・定期的に、体温、脈拍、血圧などを測定します ・床上安静 ベッドギャッチアップ30° まで ・食事時のみ座位可 	・トイレのみ歩行可能です 					
食事	・看護師がナースコールの位置の確認とベッドの周辺の調整を行います ・移動や移乗の際に不安があれば、看護師を呼んで下さい									
			・絶対飲食です 	・可能であれば夕食より食事開始します	【管理栄養士】 ・栄養士が訪問し、病状や嗜好に適した食事を提供します ・食事の選択ができます（医師の指示や食種によっては選択ができないものもあります） 					・朝食まで食事ができます ・退院後の食事は、退院時の医師の指示に従って下さい
清潔		・制限はありません	・医師の指示に従ってください							・退院後の入浴は、退院時の医師の指示に従って下さい
排泄		・トイレで排泄ができます（個々の患者様に応じた排泄助をします）	・バルーンカテーテル挿入します	・ベッド上で排泄します	・バルーンカテーテル抜去します ・バルーンカテーテル抜去後、 ・トイレで排泄ができます（個々の患者様に応じた排泄助をします）					
看護	手術に向けて不安が軽減できるよう支援していきます			手術後に起こる苦痛を最小限にできるよう看護します			日常生活の自立度に応じて日常生活の援助をしていきます			退院後の生活に向けて支援していきます
		入院による環境の変化や身体への負担が軽減できるよう環境調整を行います								
患者さん・ご家族への説明	・ご不明な点は、お電話ください ・病院代表 0568-76-4131 入院前日または脳神経外科外来 入院当日は6W病棟 にお問い合わせ下さい 	【医師から】 ★入院の説明と治療の説明があります。（外来でお済の方はありません） 【看護師から】 ★説明後、「入院診療計画書」、「同意書」にサインをお願いします（外来で説明がお済の方は、サイン記入後、提出してください） ★安全確認のため、患者識別のリストバンドをつけていただきます ★病棟、入院中の生活、治療の流れを説明します	・付き添いの方は、手術終了まで4階ディルームでお待ちください 【医師から】 ★手術直後の説明は主治医よりあります ★手術後、状態が安定していれば、付き添いの方は帰宅していただけます		【医師から】 ★ご希望や、必要に応じて、経過の説明をいたします 【看護師から】 ・ご希望や、日常生活に応じて説明をいたします ・必要により退院調整看護師がお話を聞きます 				【看護師から】 ★「退院療養計画書」を基に退院後の生活、次回外来の説明があります ・退院は午前10時までになります。 ・クラークが請求書を届けます ★病室内点検の後退院となります	
患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします。 患者パス作成：2024年8月 小牧市民病院										